

森林・山村多面的機能発揮対策 様式記入例

※元号の表記については、申請日等や内容に応じて、新元号に書き換えてください。

(様式第9号)

番 号
令和〇年〇月〇日

〇〇地域協議会長 殿

〇〇〇〇〇〇会 (活動組織名)
会長 氏 名 印

令和〇年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金交付決定前着手届

森林・山村多面的機能発揮対策実施要領の別紙3の第5の7の規定に基づき、別記条件を了承の上、下記のとおり提出します。

記

1. 事業費 〇, 〇〇〇, 〇〇〇円
2. 活動組織名 〇〇〇〇〇〇会
3. 着手予定年月日 〇年〇月〇日
4. 採択決定前の着手を必要とする理由 森林資源利用タイプの活動で、薬用植物である〇〇を適期に収穫するには準備等に〇月〇日から取りかかる必要があるため、採択決定前の着手が必要である。

※着手予定年月日は、地域協議会が活動組織の採択申請書を審査し、採択する団体を決定した日以降とする。

(別記条件)

1. 採択決定を受けるまでの期間に天災等の事由によって実施した施策に損失を生じた場合はこれらの損失は採択決定前着手届けを提出した活動組織が負担すること。
2. 採択決定を受けた交付金額が採択申請額又は採択申請予定額に達しない場合においても異議を申し立てないこと。
3. 当該施策については、着工から採択決定を受ける期間内においては計画の変更は行わないこと。

(様式第 10 号)

〇〇活動組織規約 (例)

令和〇年〇月〇日制定

第 1 章 総則

(名称)

第 1 条 この活動組織は、〇〇活動組織 (以下「活動組織」という。) という。

(事務所)

第 2 条 活動組織は、主たる事務所を〇〇に置く。

(目的)

第 3 条 活動組織は、第 4 条の構成員による地域共同による森林・山村の多面的機能の発揮のための活動を通じ、地域の活性化を図ることを目的とする。

第 2 章 構成員

(構成員)

第 4 条 活動組織の構成員は別紙のとおりとする。

なお、活動組織の構成に当たっては、地域の実情を踏まえ、関係者が十分協議し、備考欄に構成員の所属等を記載するよう努める。

第 3 章 役員

(役員の数及び選任)

第 5 条 活動組織に、代表 1 名、副代表〇名、書記〇名、会計〇名、監査役〇名を置くこととする。代表等役員は別紙のとおりとする。

2 代表、副代表及び監査役は総会において構成員の互選により選任するものとし、書記及び会計は、代表が指名するものとする。

3 代表は、この活動組織を代表し、活動組織の業務を統括する。

4 副代表は、代表を補佐し、代表が欠けたときは、代表を代行する。

5 書記は、活動組織の活動の事務等を行う。

6 会計は、責任者として事業の会計を行う。

7 監査役は、責任者として会計の監査を行う。

(役員任期)

第 6 条 役員任期は、〇年とする。

2 補欠又は増員による任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

第4章 総会

(総会の開催)

第7条 通常総会は、毎年度1回以上開催する。

2 臨時総会は、次に掲げる場合に開催する。

一 構成員現在数の3分の1以上から会議の目的たる事項を示した書面により請求があったとき。

二 監査役が不正な事実を発見し、報告するために招集したとき。

三 その他代表が必要と認めたとき。

3 前項第1号の規定により請求があったときは、代表は、その請求のあった日から30日以内に総会を招集しなければならない。

4 総会の招集は、少なくともその開催の7日前までに、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって構成員に通知しなければならない。

(総会の権能)

第8条 総会はこの規約において別に定めるもののほか、次の各号に掲げる事項を議決する。

一 活動に関する活動計画の設定又は変更、収支決算、実績報告及び実施に関すること。

二 活動組織規約の制定及び改廃に関すること。

三 その他活動組織の運営に関する重要な事項。

(総会の議決方法等)

第9条 総会は、構成員現在数の過半数の出席がなければ開くことができない。ただし、出席は委任状をもって代えることができる。

2 総会においては、第7条第4項によりあらかじめ通知された事項についてのみ議決することができる。ただし、緊急を要する事項については、この限りでない。

3 総会の議事は、第10条に規定するものを除き、出席した構成員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 議長は、構成員として総会の議決に加わることができない。

5 総会により決定した事項については、決定事項を記載した書面を作成するとともに、その写しを構成員全員に配布するものとする。

(特別議決事項)

第10条 次の各号に掲げる事項は、総会において、出席者の議決権の3分の2以上の多数による議決を必要とする。

一 活動組織規約の変更

二 活動組織の解散

三 構成員の除名

四 役員解任

第5章 事務、会計及び監査

(書類及び帳簿の備付け)

第11条 活動組織は、第2条の事務所に、次の各号に掲げる書類及び帳簿を備え付けておかなければならない。

- 一 活動組織規約
- 二 役員等の氏名及び住所を記載した書面
- 三 収入及び支出に関する証拠書類、帳簿及び財産管理台帳
- 四 その他代表が必要と認めた書類

(書類の保存)

第12条 活動組織は、前条各号に掲げる書類を事業終了年度の翌年度から5年間保存することとする。

(事業及び会計年度)

第13条 活動組織の事業及び会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(資金)

第14条 活動組織の資金は、次の各号に掲げるものとし、その会計に当たってはほかの会計と区分して経理する。

- 一 森林・山村多面的機能発揮対策交付金
- 二 その他の収入

(会費)

第15条 前条第二号に掲げる収入として、会員から月(年)〇〇円の会費を徴収するものとする。

(事務経費支弁の方法等)

第16条 活動組織の事務に要する経費は、第14条の資金をもって充てる。

(活動計画の作成)

第17条 活動計画は、会計区分ごとに作成し、総会の議決を得てこれを定める。

(資金の支出)

第18条 資金の支出者は代表とする。

(資金の流用)

第 19 条 資金は、定められた目的以外に使用し、又は流用してはならない。

(金銭出納の明確化)

第 20 条 出納の事務を行う者は、金銭の出納及び保管を厳正かつ確実にいき、日々の出納を記録し、常に金銭の残高を明確にしなければならない。

(金銭の出納)

第 21 条 金銭を出納したときは、領収証を発行しなければならない。

- 2 金融機関への振込の方法により入金する場合は、入金先の要求がある場合のほか、領収証を発行しないものとする。

(領収証の徴収)

第 22 条 金銭の支払については、最終受取人の領収証を徴収しなければならない。ただし、領収証の徴収が困難な場合には、レシート等をもってこれに代えることができる。

- 2 金融機関への振込の方法により支払を行うときは、取扱金融機関の振込金受取書をもって支払先の領収証に代えることができる。

(物品の管理)

第 23 条 活動組織が購入又は借り入れした器具、備品及び資材については、滅失及びき損のないよう、適正に管理するものとする。

(決算及び監査)

第 24 条 活動組織の決算については、代表が事業年度終了後、金銭出納簿、事業報告書及び財産管理台帳を、通常総会の開催の日の○日前までに監査役に提出しなければならない。

- 2 監査役は、前項の書類を受領したときは、これを監査し、監査報告書を作成して代表に報告するとともに、代表は監査について、毎会計年度終了後○日以内に総会の承認を受けなければならない。

第 6 章 活動組織規約の変更

(規約の変更)

第 25 条 この規約を変更した場合は、地域協議会長に報告をしなければならない。

第 7 章 雑則

(細則)

第 26 条 森林・山村多面的機能発揮対策実施要綱（平成 25 年 5 月 16 日 25 林整森第 59

号農林水産事務次官依命通知)、森林・山村多面的機能発揮対策交付金交付要綱(平成25年5月16日25林整森第60号農林水産事務次官依命通知)、森林・山村多面的機能発揮対策実施要領(平成25年5月16日25林整森第74号林野庁長官通知)、その他この規約に定めるもののほか、活動組織の事務の運営上必要な細則は、代表が別に定める。

附 則

- 1 この規約は、令和〇年〇月〇日から施行する。
- 2 活動組織の設立初年度の役員を選任については、第5条第2項中「総会」とあるのは、「設立総会」と読み替えるものとし、その任期については、第6条第1項の規定にかかわらず、令和〇年〇月〇日までとする。
- 3 活動組織の設立初年度の活動計画の議決については、第17条中「総会」とあるのは「設立総会」と読み替えるものとする。

(別紙)

令和 年 月 日

〇〇活動組織参加同意書

以下3. の構成員は、〇〇活動組織へ参加するとともに、活動組織の代表及び役員を下記1. 2. のとおり定めます。

1. 代表

役職名	氏名	住所	備考

2. 役員

役職名	氏名	住所	備考

3. 構成員

(1) 個人

役職名	氏名	住所	備考

(2) 団体

氏名	住所	団体名

注：団体においては、活動組織の構成員となる者は代表者とし、構成員名簿を添付すること。

(様式第11号)

森林・山村多面的機能発揮対策交付金の実施に関する協定書（例）

森林・山村多面的機能発揮対策実施要領（平成25年5月16日25林整森第74号林野庁長官通知）に基づき、〇〇活動組織と森林所有者は、下記のとおり協定を締結する。

記

（目的）

第1条 この協定は、地域の森林・山村の多面的機能の発揮のための活動（以下「活動」という。）が円滑に実施できるよう、その内容等について定めることを目的とする。

（協定期間）

第2条 地域共同による活動の協定期間は、協定締結の日から令和〇年〇月〇日までとする。

（協定の対象となる森林）

第3条 協定の対象となる森林は、以下のとおりとする。

所在地 〇〇県〇〇町〇〇〇〇 〇〇ー〇 住所を具体的に記載

面積 〇〇.〇ha 面積を記載

計画図 別紙の「森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る活動計画書」の12に定めるとおりとする。

（森林経営計画の確認等）

第4条 森林所有者は協定締結後に協定の対象となる森林において、森林経営計画を策定しようとする場合又は立木の伐採や森林の転用等を行おうとする場合は、〇〇活動組織と事前に協議するものとする。

2 協定の対象となる森林において活動計画の期間中に森林経営計画が策定された場合にあっても、前項後段の立木の伐採や森林の転用等を行おうとする場合の事前協議に関する規定及び第6条の規定は有効とする。

（活動計画）

第5条 活動組織が行う活動は、別紙の「森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る活動計画書」の7に定めるとおりとする。

（その他）

第6条 この協定に定めのない事項、又は疑義が生じた場合には、活動組織と森林所有者が協議をして定めるものとする。

上記協定の締結を証するため、活動組織と森林所有者は、本書を作成し、記名押印の上、それぞれ1通を保有するものとする。

令和〇年〇月〇日

〇〇活動組織

住所 〇〇県〇〇町〇〇〇〇 〇〇-〇

代表 〇〇 〇〇 印

住所 〇〇県〇〇町〇〇〇〇 〇〇-〇

〇〇 〇〇 印

住所 〇〇県〇〇町〇〇〇〇 〇〇-〇

〇〇 〇〇 印

住所 〇〇県〇〇町〇〇〇〇 〇〇-〇

〇〇 〇〇 印

複数の森林所有者と協定を結ぶ場合、森林所有者それぞれと個別に協定を結んでもよい。

(様式第 12 号)

活 動 計 画 書

< 記載事例 >

令和〇年〇月〇日策定

〇〇〇〇〇 (活動組織名)

森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る活動計画書

1. 組織名 活動組織の名称を記載

〇〇〇〇〇〇（活動組織名）

2. 所在地 活動組織の所在地を記載

〇〇県〇〇市〇〇 1-2-1

3. 地区の概要、取組の背景等

〇〇市〇〇地区は・・・により、集落で先祖代々守り続けている〇〇の森が荒廃してきた。このため、地域住民（〇人）とNPO法人〇が「〇〇の森保全の会」を設立し、〇〇の森を整備し、間伐体験や炭焼き体験を開催し、地域住民と都市住民の絆の森とし、地域の活性化を進める。

4. 取組概要

〇地区にある〇を中心とした広葉樹林について〇〇の森保全の会メンバーによる雑草木の刈払い、集積、処理場までの運搬を実施。整備後に〇を植林、遊歩道の整備（一部急峻フィールドについては作業委託を実施。0.5ha）をしている。また、一部のフィールドにおける孟宗竹の除去を実施し、チップパーによる処理後遊歩道へ敷設する。対象林地内に炭焼き小屋を整備し、フィールド内の0.5haから炭及び薪ストーブ用の原木の間伐を行い、地域内外の住民への炭焼き体験も実施する。

5. 構成員の概要 活動組織がどのような構成員からなっているかを記載

※構成員の居住地（どのような地域から参加しているか）、職種、経歴、所属団体等、構成員の多様性がわかるように記載すること。

〇〇の森保全の会は、主に〇〇市〇〇地区の住民が集まった組織であり、構成員40名のうち35名が同地区の住民である。その他の構成員は〇〇市内他地区が4名、県外1名となっている。本活動組織は地域の住民を核に作られた組織であるため職種は林業、自営業、事務等様々である。所属団体については、森林関係のNPOに所属している者が10名、環境保全に関する市民団体8名などからなる。

6. 地元の自治体、自治会、集落等のニーズに対応するなど地域の活性化への寄与

地元自治会で〇〇の森の荒廃が問題視されており、自治会の中から有志で〇〇の森保全の会を立ち上げて森林整備を行う。〇〇の森は市有林であり、財政状況が厳しい中で、市でも十分な管理が行えていない場所である。このことから、市の方からも協定を結び、地域住民で管理をして貰えるのであればありがたいとの声をいただいている。

7. 年度別スケジュール

取組概要	〇〇年度		〇〇年度		〇〇年度	
1. 活動推進費	林況調査及び活動についての詳細な打合せ					
2. 実践活動						
A-1 地域環境保全タイプ (里山林保全)	雑草木の刈払い、集積、処理	3 ha	雑草木の刈払い等保全管理	3 ha	雑草木の刈払い等保全管理	3 ha
A-2 地域環境保全タイプ (侵入竹除去、竹林整備)	侵入竹の除去、チップ処理	0.5 ha	侵入竹の除去、チップ処理	1.0 ha	侵入竹の除去、チップ処理	1.5 ha
B 森林資源利用タイプ	炭焼き・薪原木の伐採	0.5 ha	炭焼き・薪原木の伐採	1.5 ha	炭焼き・薪原木の伐採	1.5 ha
C 森林機能強化タイプ		ha	森林資源利用タイプの活動	1 ha	森林資源利用タイプの活動	1 ha
	作業道の作設・補修	100 m		m		m
2-1. 間伐等(除伐・枝打ちを含む)実施面積 人工林だけでなく天然林や竹林についても入れること		3 ha		4 ha		4 ha
2-2. 活動を始める時点で長期にわたり手入れをされていないと考えられる森林を整備する面積 施業履歴等を確認する必要はなく、荒廃している等の場所であれば面積を記入すること。このとき、面積はおおよその面積で記載し測量等を行う必要はない。		2 ha		1 ha		0 ha
3. 資機材・施設の整備	炭焼き小屋整備 薪割り機1台		薪ストーブ1台設置			

※1 延長には森林調査・見回りを除く。

※2 2のCの森林機能強化タイプの森林面積については、スケジュールの期間内に地域環境保全タイプ又は森林資源利用タイプにより森林整備を実施する面積を記載する。

※3 2-2については、2年目以降はその前年度までの活動により該当する里山林の整備を実施している場合はその里山林の面積を除外し、その年度に新たに該当する里山林の整備を実施する面積を記載する。

8. 活動の目標と活動結果を測定するためのモニタリング調査方法（地域環境保全タイプ及び森林資源利用タイプについて記載）

タイプ名	目 標	モニタリング調査方法
地域環境保全タイプ 里山林保全	希少種、あるいは里山の指標種を保護する	植生調査 【調査区面積】 25m ² の方形調査区 【調査項目】 植物の種類、目標対象種の生育状況
地域環境保全タイプ 侵入竹除去・竹林整備	タケノコが利用できる竹林に整備する	竹の本数調査 【調査区面積】 25m ² の方形調査区 【調査項目】 竹の本数
森林資源利用タイプ	木質資源を持続的に生産し、利用する	資源量調査 【調査区面積】 25m ² の方形調査区 【調査項目】 資源の利用可能量の見込みと、 実際の年間の資源利用量

(注) 目標の設定及びモニタリング方法の記載については、別に定めるガイドラインを参考とすること。

9. 年度別に実施する安全講習等の名称及び内容

年 度	講習の名称	講習の内容
〇〇年度	安全講習会	刈り払い機、チェーンソー等動力機械に関する知識、操作方法について学ぶ。また、振動障害及びその予防に関する知識について習得する。
〇〇年度	森林整備講習会	間伐方法や伐採木の搬出方法等の森林施業技術に関する知識や方法について学ぶ。
〇〇年度	救急法講習会	手当の基本、人工呼吸や心臓マッサージの方法、AED（自動体外式除細動器）を用いた除細動などを習得する。 また、止血の方法、包帯の使い方、骨折などの場合の固定、搬送などについての知識と技術を習得する。

(注) 安全講習等は、対象森林内で実施するものを記載すること。

10. 安全のために装備する物品及び傷害保険の名称

<p>【安全のために装備する物品】</p> <p>保護帽（あごひも）、イヤーマフ（耳栓）、防振手袋、腕カバー、作業用防護ズボン、スパイクつき安全靴および安全足袋</p> <p>【傷害保険の名称】</p> <p>グリーンボランティア保険（特定非営利活動法人 森づくりフォーラム）</p>
--

1 1. 4年目以降の活動（森林管理）計画 4年目以降の取組の方向性について記載

4年目以降も〇〇の森の保全管理を継続して実施予定。また、近隣の都市住民からも幅広く維持活動に協力していただける活動を継続し、地域の里山を維持・発展させたい。

1 2. 計画図（協定の対象としている区域の図面）

取組の実施箇所の森林計画図を添付すること。森林計画図がない場合は、対象森林の面積が分かる縮尺5,000分の1以上の図面を添付すること。添付した図面に、計画期間中の各タイプの活動内容及び森林経営計画の策定の有無を図示すること。また、森林機能強化タイプにおいては、改修等を実施する路網や鳥獣被害防止柵を図示すること。

取組の実施箇所の森林簿及び森林計画図を添付（縮尺5,000分の1以上の図面も用いて、タイプ別活動エリアが明記されているもの）。森林簿、森林計画図がない場合は、対象区域がわかる図面を使う。

森林経営計画については、市町の担当課で協定の対象としている区域および周囲で策定されているかどうかを確認し、ある場合は図示したうえ、活動計画に留意すること。

1 3. その他

(1) 写真

取組の実施箇所に長期にわたり手入れをしていなかったと考えられる里山林がある場合はその写真を添付すること。

(2) 収入

会費、林産物収入など森林・山村多面的機能発揮対策交付金以外の収入を記載すること。

- ・会費 30,000円（3,000円×10名）
- ・薬用植物売上 60,000円

(3) 委託

取組を委託する場合は、次を記載すること。

活動計画における取組についての委託

- ・委託機関名
〇〇森林組合
- ・連絡先（電話番号等）
〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
- ・委託時期
〇年〇月
- ・委託内容（委託する区域の林小班、委託業務の内容（面積、作業の内容）等）
急峻な〇小班の刈払い及び処理作業
- ・委託金額
150,000円

※活動を作業委託する場合は、活動組織としての活動を活動計画の中で必ず明記すること。活動全てを委託することはできない。

(様式第 13 号)

番 号
年 月 日

〇〇地域協議会
会長 〇〇 〇〇 殿

〇〇活動組織
会長 〇〇 〇〇 印

令和〇年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る採択申請書

森林・山村多面的機能発揮対策実施要領（平成 25 年 5 月 16 日 25 林整森第 74 号林野庁長官通知）別紙 3 の第 5 の 4（1）に基づき、下記のとおり森林・山村多面的機能発揮対策交付金の採択を申請する。

記

1. 活動組織名

〇〇〇〇〇〇 活動組織の名称を記載

2. 協定の対象となる森林の位置

対象森林の地番を記載する。なお、対象森林は「森林・山村多面的機能発揮対策実施要領」別紙 3 の第 2 の 1 の森林を対象とするが、当該森林が当該事業実施に対して規制がない森林であることを確認する。

〇〇市△△123、△△1000-1 の一部（〇〇国有林〇〇林班〇小班）

3. 担当者名・電話番号（連絡がとれる担当者及び電話番号を記載）

〇〇太郎・090-〇〇〇〇-〇〇〇〇

4. 森林・山村多面的機能発揮対策交付金

取組メニュー	交付単価等	森林面積等	交付金額	都道府県の支援額	市町村の支援額	計
活動推進費	112,500 円	初年度のみ	112,500 円	円	円	112,500 円
地域環境保全タイプ（里山林保全）	120,000 円 /ha	3.0 ha	360,000 円	円	円	360,000 円
地域環境保全タイプ（侵入竹除去・竹林整備）	285,000 円 /ha	0.5 ha	142,500 円	円	円	142,500 円
森林資源利用タイプ	120,000 円 /ha	0.5 ha	60,000 円	円	円	60,000 円
森林機能強化タイプ	800 円/m	100 m	80,000 円	円	円	80,000 円
小 計			755,000 円	円	円	755,000 円

資機材・施設の整備	1/2 以内	150,000 円	75,000 円	円	円	75,000 円
資機材・施設の整備（林内作業車、薪割り機、薪ストーブ又は炭焼き小屋）	1/3 以内	150,000 円	50,000 円	円	円	50,000 円
計			円	円	円	880,000 円
間伐等（除伐、枝打ちを含む。）の実施面積 人工林だけでなく天然林や竹林についても入れること		1.0 ha				
当該年度に長期にわたり手入れをしていなかったと考えられる里山林を整備する面積 施業履歴等を確認する必要はなく、荒廃している等の場所であれば面積を記入すること。このとき、面積はおおよその面積で記載し測量等を行う必要はない。		2.0 ha				

（注1）面積は0.1ha、延長はm単位で記入。

（注2）当該年度に長期にわたり手入れをしなかったと考えられる里山林を整備する面積は、活動期間内の前年度までに該当する里山林の整備を実施した場合は、その森林の面積を除外し、当該年度に新たに里山林の整備を実施する面積を記載すること。

（注3）都道府県の支援額、市町村の支援額及び計については、申請時に都道府県や市町村から予定額を聞いている場合等に記載すること。

資機材・施設の整備の森林面積等の欄については、購入予定額を記載

資機材・施設の整備の交付率は1/2以内（ただし、林内作業車、薪割り機、薪ストーブ又は炭焼き小屋については1/3以内）

※複数社での見積と購入商品のパンフレットを添付すること。

5. 事業費（活動推進費＋各タイプ計＋資機材・施設の整備（購入額））

112,500 + 360,000 + 142,500 + 60,000 + 80,000 + 150,000 + 150,000
=1,055,000 円

「資機材・施設の整備」は、交付金額ではなく、購入額を記載

6. 月別スケジュール

取組内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 活動推進費	←→											
	対象森林の調査、打合せ											
2. 実践活動												
A-1 地域環境保全タイプ (里山林保全)							←→					
							雑草木の刈払い					
							←→					
							雑草木の集積・処理					
										←→		
A-2 地域環境保全タイプ (侵入竹除去、竹林整備)										←→		
										作業委託 (雑草木の刈払い・処理)		
											←→	
										侵入竹の除去・処理		
B 森林資源利用タイプ	←→											
	間伐・炭焼き体験実施、薬用植物採取											
C 森林機能強化タイプ												
								←→				
								作業道の作設・補修				
3. 資機材・施設の整備	←→											
	チェーンソー (15万)											
	←→											
	薪割り機 (15万)											

7. 安全講習等の名称及び内容

講習の名称	講習の内容	実施月
安全講習会	刈り払い機、チェーンソー等動力機械に関する知識、操作方法について学ぶ。 また、振動障害及びその予防に関する知識について習得する。	6月

(注) 安全講習等は、対象森林内で実施するものを記載すること。

< 施行注意 >

活動計画書、協定及び活動組織の運営に関する規約等を添付するものとする。

(様式第 16 号)

番 号
年 月 日

〇〇地域協議会会長
氏 名 殿

〇〇地域活動組織代表
氏 名 印

令和〇年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る採択変更申請書（届出書）

令和〇年〇月〇日付け第〇号で採択通知のあった森林・山村多面的機能発揮対策交付金を変更したいので、森林・山村多面的機能発揮対策実施要領（平成 25 年 5 月 16 日 25 林整森第 74 号林野庁長官通知）別紙 3 の第 5 の 6 に基づき、下記のとおり採択の変更を申請する（届け出る）。

記

1. 活動組織名
2. 協定の対象となる森林の位置
3. 森林・山村多面的機能発揮対策交付金

取組メニュー	交付単価等	森林面積等	交付金額	都道府県の支援額	市町村の支援額	計
活動推進費	112,500 円	初年度のみ	円	円	円	円
地域環境保全タイプ（里山林保全）	120,000 円 /ha	ha	円	円	円	円
地域環境保全タイプ（侵入竹除去・竹林整備）	285,000 円 /ha	ha	円	円	円	円
森林資源利用タイプ	120,000 円 /ha	ha	円	円	円	円
森林機能強化タイプ	800 円/m	m	円	円	円	円
小 計			円	円	円	円
資機材・施設の整備	1/2 以内	円	円	円	円	円
資機材・施設の整備（林内作業車、薪割り機、薪ストーブ又は炭焼き小屋）	1/3 以内	円	円	円	円	円
計			円	円	円	円
間伐等（除伐、枝打ちを含む。）の実施面積		ha				
当該年度に長期にわたり手入れをしていなかったと考えられる里山林を整備する面積		ha				

（注）都道府県の支援額、市町村の支援額及び計については、申請時に都道府県や市町村から金額を聞いている場合等に記載すること。

4. 月別スケジュール

取組内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 活動推進費												
2. 実践活動												
A-1 地域環境保全タイプ (里山林保全)												
A-2 地域環境保全タイプ (侵入竹除去・竹林整備)												
B 森林資源利用タイプ												
C 森林機能強化タイプ												
3. 資機材・施設の整備												

5. 安全講習等の名称及び内容

講習の名称	講習の内容	実施月
		月
		月

(注) 安全講習等は、対象森林内で実施するものを記載すること。

6. 計画変更の理由（減額の理由）

※減額の場合は減額する金額も併せて記載すること。

(様式第 17 号)

日当等、交付金支出の取組に関する整理番号を記入

令和○年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金（活動記録）

活動記録の写真は、本事業に関係する活動行為を記載。「活動実施日時」、「活動参加人数」の欄には、実際に作業を行った時間、参加人数を記入。写真は、活動の内容、規模（参加人数）がわかるように写す。

同一の活動日に複数の
写真を整理する場合は
枝番を加える
290623-1、290623-2



活動実施日時			活動参加人数		タイプ	取組	写真番号	整理番号
実施年月日	実施時間		構成員	構成員 以外の 参加者				
	時間帯	実施時間						
○. 6. 1	8～16 時	8 時間	4 人		活動推進費	対象森林の林況調査	290601	A001
○. 6. 15	10～16 時	5 時間	4 人		森林資源利用タイプ	資料作成、標識整備、安全性検討	290615	A002
○. 6. 20	9～12 時	3 時間	8 人		森林資源利用タイプ	薬用植物採取、間伐・炭焼き体験準備	290620	
○. 6. 23	9～15 時	6 時間	8 人	20 人	森林資源利用タイプ	薬用植物採取	290623-1	A003
○. 6. 23	10～14 時	4 時間	8 人		森林資源利用タイプ	間伐・炭焼き体験実施（森林整備）	290623-2	A004
○. 9. 1	8～12 時	4 時間	10 人	10 人	地域環境保全タイプ （里山保全）	△△123 の雑草木刈払い	290901	A005
○. 9. 5	9～12 時	3 時間	4 人		森林機能強化タイプ	△△1000-1 作業道改修の打合せ	290905	
○. 9. 14-17	13～16 時	3 時間	10 人		森林機能強化タイプ	△△1000-1 作業道の改修	290914, 290915, 290916, 290917	A006
○. 9. 21	8～12 時	4 時間	8 人	4 人	地域環境保全タイプ （里山保全）	△△123 の雑草の集積、処理（処理場までの運搬）	290921	A007
○. 2. 8-9						△△123 の雑草木刈払い・処理(作業委託 0.5ha)	300208, 300209	A008
○. 2. 10	8～17 時	6 時間	10 人	5 人	地域環境保全タイプ （侵入竹除去）	△△123 の侵入竹の除去・処理開始(チップ処理、遊歩道への敷設)	300210	A009

(別添1) 活動上、重要部分については作業写真整理帳に整理する。(例：各活動タイプ別に整備前後の状況等、活動の実態の概要がわかる写真等)

作業写真整理帳

No _____

該当する活動項目にチェックする

組織名 _____

写真番号：290623-1

写真添付

活動項目をチェックする	① <input type="checkbox"/>	② <input type="checkbox"/>	③ <input type="checkbox"/>
	④ <input checked="" type="checkbox"/>	⑤ <input type="checkbox"/>	
取組内容	森林資源利用タイプ (薬用植物採取)		

写真番号：290623-2

写真添付

活動項目をチェックする	① <input type="checkbox"/>	② <input type="checkbox"/>	③ <input type="checkbox"/>
	④ <input checked="" type="checkbox"/>	⑤ <input type="checkbox"/>	
取組内容	森林資源利用タイプ (間伐・炭焼き体験)		

写真番号：300210

写真添付

活動項目をチェックする	① <input type="checkbox"/>	② <input type="checkbox"/>	③ <input checked="" type="checkbox"/>
	④ <input type="checkbox"/>	⑤ <input type="checkbox"/>	
取組内容	△△123の侵入竹の除去・処理開始(チップ処理、遊歩道への敷設)		

活動項目

- ①：活動推進費
- ②：地域環境保全タイプ (里山林保全)
- ③：地域環境保全タイプ (侵入竹除去・竹林整備)
- ④：森林資源利用タイプ
- ⑤：森林機能強化タイプ

※活動前、活動中、活動後について、それぞれ遠景・近景を撮影すること。

(別添2)

作業写真整理帳 (デジカメ写真の場合で主要でないもの)

写真番号	該当取組項目に○					取組内容	整理番号
	①	②	③	④	⑤		
290601	○					活動推進 林況確認	A001
290615				○		資料作成、標識整備、安全性検討	A002
290620				○		薬用植物採取、間伐・炭焼き体験準備	
290623-1				○		薬用植物採取	A003
290623-2				○		間伐・炭焼き体験実施 (森林整備)	A004
290901		○				△△123 の雑草木刈払い	A005
290905					○	△△1000-1 作業道改修の打合せ	
290914, 290915 290916, 290917					○	△△1000-1 作業道の改修	A006
290921		○				△△123 の雑草の集積、処理 (処理場までの運搬)	A007
290923		○				△△123 の (0.5ha) の作業委託打合せ	
300208, 300209			○			△△123 の雑草木刈払い・処理(作業委託 0.5ha)	A008
300210			○			△△123 侵入竹の除去・処理(チップ処理、遊歩道への敷設)	A009



- ①：活動推進費
- ②：地域環境保全タイプ (里山林保全)
- ③：地域環境保全タイプ (侵入竹除去・竹林整備)
- ④：森林資源利用タイプ
- ⑤：森林機能強化タイプ

必要があれば記載。

写真番号：様式第 17 号の備考 (写真番号) と同じ番号にする。

写真の磁気データは別途保管し求めに応じて速やかに参照できる状態にする。

(様式第 18 号)

令和○年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金（金銭出納簿）

日付	タイプ	内容	収入 (円)	立替 (円)	支出（円）				資機材購入 費のうち交 付金充当額	領収書等 番号	活動実施日	備考（財産の保 管場所）
					人件費	委託費	その他	資機材の 購入等				
○.6 .1		活動組織 自己資金		8,000								
○.6 .5	活動推進 費	活動推進 林況調査 人件費 (2,000円 4人)		-8,000	8,000				A001	○.6.1		
○.1 0.1		交付金受け取り(活動推進費、タ イプ別分)	831,000									
○.1 0.1		交付金受け取り(資機材分)	125,000									
○.1 0.1		自己資金	175,000									
○.1 0.2		チェーンソー 15万円					150,000	75,000	1		○○の森保全の 会の事務所	
○.1 0.2		薪割り機 15万円					150,000	50,000	2		同上	
○.1 0.2	森林資源 利用	資料作成、標識整備、安全性検討 (2,000円×4人)			8,000				A002	○.6.15		
○.1 0.2	森林資源 利用	間伐・炭焼き体験準備人件費 (4,000円×10人)			40,000				A003	○.6.23		

	森林資源 利用タイ プ	間伐・炭焼き体験開催等 森林整 備人件費 (2,000×20人)			80,000					A004	○.6.23
○.1 0.2	地域環境 保全タイ プ(里山 保全)	△△123の雑草木刈払い 人件 費(2,000円×20人(午前参加 者10人、午後参加者10人 分))			40,000					A005	○.6.23
○.1 0.2	森林機能 強化タイ プ	△△1000-1の作業道の改修 人件 費(2,000円×10人 4日分)			80,000					A006	○.9.14-17
	地域環境 保全タイ プ(里山 保全)	△△123の雑草木刈払い・処理 (作業委託0.5ha)			150,000					A008	○.2.8-9
○.2 .15	地域環境 保全タイ プ(侵入 竹除去)	△△123の侵入竹除去・処理(チ ッパー処理、遊歩道への敷設) 人件費(6,000円×15人)			120,000					A009	○.2.10
		合計	1,131, 000	0	611,000	150,000	70,000	300,000	125,000		

購入したもの、作業内容等、金額の内訳
が分かるように記載する。

内容ごとに分かるように領収書等に番号
を付ける。

(様式第 19 号)

令和○年度 モニタリング結果報告書

1 活動の目標等

タイプ名：
目標：
モニタリング調査方法：

2 活動実施前の標準地の状況（令和○年度）

写真

標準地の状況を記載	
-----------	--

3 活動 1 年目の標準地の状況（令和○年度）

写真

標準地の状況を記載	
目標達成度	
次年度に向けた改善策	

4 活動 2 年目の標準地の状況（令和○年度）

写真

標準地の状況を記載	
目標達成度	

次年度に向けた改善策	
------------	--

5 活動3年目の標準地の状況（令和○年度）

写真

標準地の状況を記載	
目標達成度	

（注）目標の設定及び標準地の状況の記載については、別に定めるガイドラインを参考とすること。

(様式第 20 号)

番 号
年 月 日

〇〇地域協議会会長
氏 名 殿

〇〇地域活動組織代表
氏 名 印

令和〇年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る実施状況報告書

令和〇年度の実施状況について、森林・山村多面的機能発揮対策実施要領（平成 25 年 5 月 16 日 25 林整森第 74 号林野庁長官通知）別紙 3 の第 5 の 8 に基づき、下記の関係書類を添えて報告する。

記

- 1 令和〇年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金（活動記録）（様式第 17 号）
- 2 作業写真整理帳（様式第 17 号別添 1 及び 2）
- 3 令和〇年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金（金銭出納簿）（様式第 18 号）
- 4 令和〇年度 モニタリング結果報告書
- 5 令和〇年度 実施状況整理票（別紙 1）
- 6 令和〇年度 森林・山村多面的機能発揮に対する効果チェックシート（別紙 2）

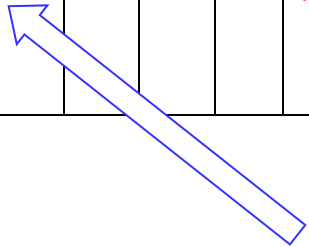
(※精算払いがある場合は業務方法書の別記様式第 1 号も併せて添付すること。)

(別紙1)

実施状況整理票

都道府県名	地域協議会名	市町村名	対象森林所在市町村名	活動組織名	取組内容								構成員(名)	交付金等の使途(円)										備考				
					地域環境保全タイプ		森林資源利用タイプ(ア)	森林機能強化タイプ(イ)	間伐等(除伐、枝打ち含む。)の実施面積(ha)	当該年度に長期にわたり手入れをされていないと考えられる森林を整備した面積(ha)	資機材・施設の整備(円)			収入					支出									
					里山林保全(ha)	侵入竹除去・竹林整備(ha)					交付率 1/2以内	交付率 1/3以内		合計	自己負担額	小計	取組に対する交付金	資機材・施設の整備に対する交付金		都道府県の支援額	市町村の支援額	合計	人件費		委託料	その他	資機材・施設の整備	
																		交付率 1/2以内	交付率 1/3以内								交付率 1/2以内	交付率 1/3以内
〇〇県	〇〇協議会	〇〇市	〇〇町	〇〇の森保全の会	3.0	0.5	0.5	100	1.0	2.0	150,000	150,000	10	1,131,000	175,000	956,000	831,000	125,000	0	0	1,131,000	611,000	150,000	70,000	150,000	150,000		

注：支出については自己負担額を含めた額を記載すること。



施業履歴等を確認する必要はなく、
 荒廃している等の場所であれば面積
 を記入すること。このとき、面積は
 おおよその面積で記載し測量等を行
 う必要はない。

自己負担分も含めた額とする。

